

# 非正規労働者切りなど 雇用不安への対応は



門原 武志 議員

【議員】これまでの取り組みは。【経済建設部長】 緊急相談窓口を設置。商工会と連携して町内事業者に雇用の維持・確保・新規求人を要請。町の臨時職員を10人募集し、5人の応募があった。【議員】 施政方針で新年度の取り組みに触れられていないが。【町長】 3月末の最も厳しい時の情勢を見て、何ができるか決めたい。【議員】 町内での非正規労働者の解雇の状況は。【経済建設部長】 2月5日付で町内の50人以上の企業（24社）にアンケートを実施し、17社から回答を得た。1月1日現在、非正規雇用が57人で、うち派遣労働者は28人。2月以降の削減予定は18人で、そのうち2月頃の解雇は88人の予定。【議員】 3年以上の派遣労働や契約期間内での解雇の違法性について企業や労働者に周知する考えは。【町長】 違法性があれば啓発する。

## 後期高齢者医療で 保険証を取り上げるのか

【議員】 保険料を1年以上滞納した人からは保険証を取り上げ、資格証明書を発行することになっている。東郷町は国保では資格証明書を発行せずに頑張ってきた。後期高齢者医療でも資格証明書を出すべきではないが。【健康部長】 県単位で決めること。その方針に従う。

## 要介護認定新方式

【議員】 要介護認定の新方式では、要介護度が軽度の判定が出る場合がある。軽度に変更された場合の対応は。【福祉部長】 異議申し立てがあれば対応する。

## 少人数学級について

【議員】 少人数学級の拡大についての考えは。【町長】 目が行き届くと思う。どれくらいが良いのか検討してもらいたい。

# 財源の見通しは



中川 雅夫 議員

【議員】 来年度の財源見通しの説明を。【総務部長】 法人住民税が36%減の2億8000万円に減り、財政調整基金を限界まで取り崩しても財源が不足。臨時財政対策債を増やして対応する。【議員】 歳出の削減は。【総務部長】 イベント関連の半減を始め諸事業の合計で1億円削減した。団体補助金は社会福祉協議会、シルバーなど、すべて1割カットし1328万円を削減した。【議員】 任期3年目に補助金カットするのは2度目だ。実績を見て補助復活も考えているか。【町長】 見直しは毎年行う。補助金創設もある。

## いこまい館の見直し

【議員】 トレーニングジムの料金は従来の2.5倍。議会で説明した割安料金も実現していない。少なくとも月間利用料3500円の枠は実現するよう会社を指導すべきだ。

## 職員の地域手当

【議員】 財政が改善すれば手当は元に戻すべきだ。【副町長】 もとに戻す考えはない。国は3%に下げると言っている。【議員】 日進15%、豊明10%。なぜ東郷が3%か。【副町長】 国と交渉してきたが、財政逼迫で削減せざるを得ない。